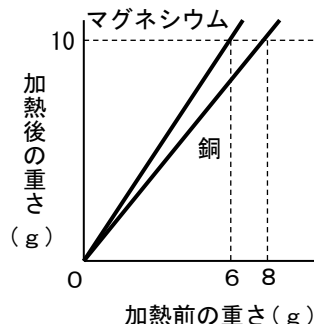
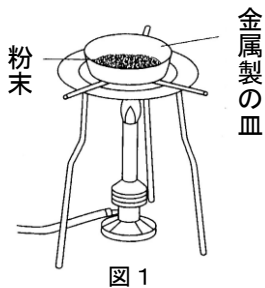


5年理科 確認テスト 第29回実施 (5分)

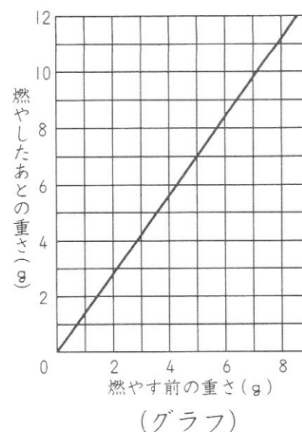
マグネシウムと銅の粉末を、異なる金属製の皿に入れ、それぞれよくかき混ぜながら、図1のようにガスバーナーで十分に加熱しました。マグネシウムと銅の重さをいろいろ変化させ、生じた酸化マグネシウム、酸化銅の重さとの関係を調べたところ、図2のグラフのようになりました。



- ① 銅 8 g を加熱して酸化銅をつくると、重さは何 g になりますか。
- ② マグネシウム 9 g を加熱して酸化マグネシウムをつくると、重さは何 g になりますか。
- ③ 酸化マグネシウム 12.5 g をつくるのに、マグネシウムは何 g 必要ですか。

- ④ 3 g の酸素と反応する銅は何 g ですか。
- ⑤ 酸化銅 30 g をつくるのに必要な酸素は何 g ですか。

鉄を完全に燃やしたあとと、燃やす前の重さの関係を調べたところ、右のグラフのようになりました。これについて、次の問いに答えなさい。



- ⑥ 燃やす前と比べて、完全に燃やしたあとは、重くなっています。これは、鉄が燃えるときにある物質 x と結びついたためです。ある物質 x とは何ですか。ことばで答えなさい。
- ⑦ スチールウールを燃やすと何色になりますか。記号で答えなさい。
ア 白色 イ 黒色 ウ 緑色 エ 赤色
- ⑧ 燃やす前の重さが 10 g だった鉄を完全に燃やすと何 g になりますか。
- ⑨ ⑧のとき、10 g の鉄に結び付いた物質 x の重さは何 g ですか。
- ⑩ 鉄を完全に燃やしたあとの重さが 21 g になったとき、燃やす前の鉄は何 g でしたか。

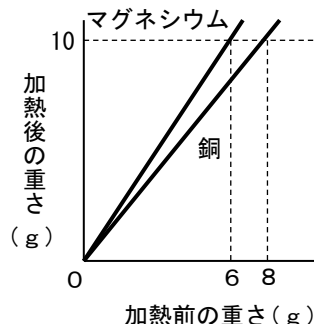
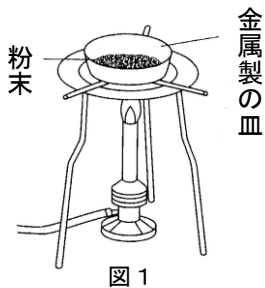
① g	② g	③ g	④ g	⑤ g	⑥
⑦	⑧ g	⑨ g	⑩ g		

氏名

/100

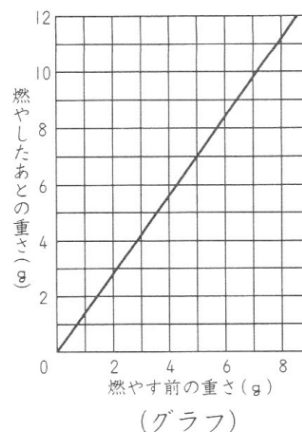
5年理科 確認テスト 第29回実施 復習用

マグネシウムと銅の粉末を、異なる金属製の皿に入れ、それぞれよくかき混ぜながら、図1のようにガスバーナーで十分に加熱しました。マグネシウムと銅の重さをいろいろ変化させ、生じた酸化マグネシウム、酸化銅の重さとの関係を調べたところ、図2のグラフのようになりました。



- ① 銅 8 g を加熱して酸化銅をつくると、重さは何 g になりますか。
- ② マグネシウム 9 g を加熱して酸化マグネシウムをつくると、重さは何 g になりますか。
- ③ 酸化マグネシウム 12.5 g をつくるのに、マグネシウムは何 g 必要ですか。
- ④ 3 g の酸素と反応する銅は何 g ですか。
- ⑤ 酸化銅 30 g をつくるのに必要な酸素は何 g ですか。

鉄を完全に燃やしたあとと、燃やす前の重さの関係を調べたところ、右のグラフのようになりました。これについて、次の問いに答えなさい。



- ⑥ 燃やす前と比べて、完全に燃やしたあとは、重くなっています。これは、鉄が燃えるときにある物質 x と結びついたためです。ある物質 x とは何ですか。ことばで答えなさい。
- ⑦ スチールウールを燃やすと何色になりますか。記号で答えなさい。
ア 白色 イ 黒色 ウ 緑色 エ 赤色
- ⑧ 燃やす前の重さが 10 g だった鉄を完全に燃やすと何 g になりますか。
- ⑨ ⑧のとき、10 g の鉄に結び付いた物質 x の重さは何 g ですか。
- ⑩ 鉄を完全に燃やしたあとの重さが 21 g になったとき、燃やす前の鉄は何 g でしたか。

①	②	③	④	⑤	⑥
g	g	g	g	g	g
⑦	⑧	⑨	⑩		
	g	g	g		

氏名

/100

5年理科 確認テスト 第29回実施 解答

10 点 × 10 = 100 点

- ① 10 g
- ② 15 g
- ③ 7.5 g
- ④ 12 g
- ⑤ 6 g
- ⑥ 酸素
- ⑦ イ
- ⑧ 14 g
- ⑨ 4 g
- ⑩ 15 g